

小樽

小樽 ポートガイド

Otaru Port Guide



シャトルバスの運行

未定

帰船時間（自由行動の方々）

未定

観光情報は、こちら！

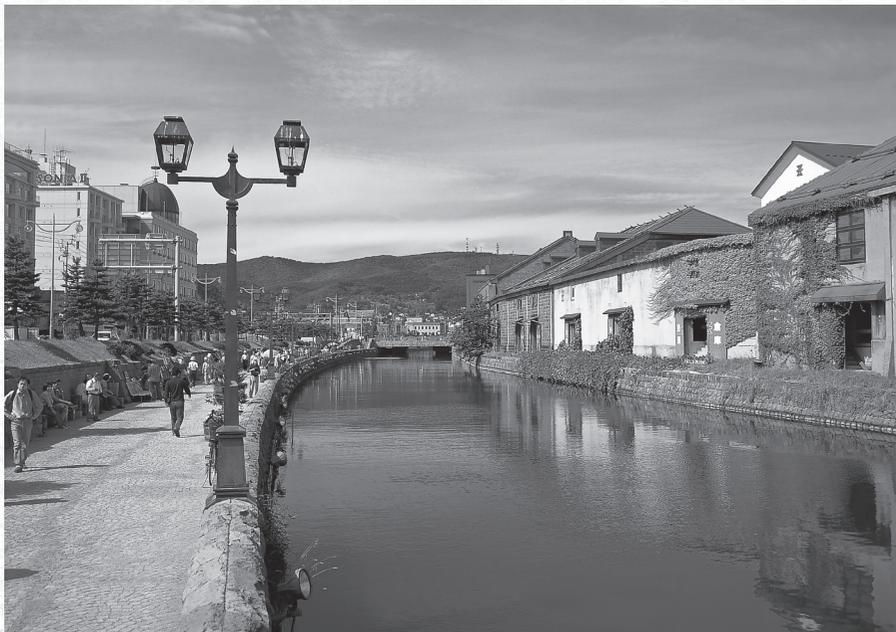
小樽国際インフォメーションセンター
電話0134-33-1661

小樽観光協会

URL : <http://otaru.gr.jp>

船舶代理店

ナラサキスタックス
携帯電話090-4870-4025



小樽運河

北海道開拓の拠点として整備され、北海道の海の玄関として発展してきた小樽港。

国内初の本格的な外洋防波堤である北防波堤や小樽運河は、今も昔の面影を残しています。

港周辺の「ぱるて築港」には、ホテルや温泉施設などが併設されている大型複合商業施設「ウイングベイ小樽」や生鮮市場などがあります。JR小樽築港駅に直結しているのでたいへん便利。心おきなく買い物をお楽しみください。このほか、海の駅に指定されている「小樽港マリーナ」などがショッピングにお勧めです。

かつて、にしん漁で栄えたこの街は北海道経済の中心地として発展しました。明治から昭和初期には当時の大手都市銀行や商社の支店が軒を連ね、一時は「北のウォール街」と呼ばれるほど栄華を極めました。

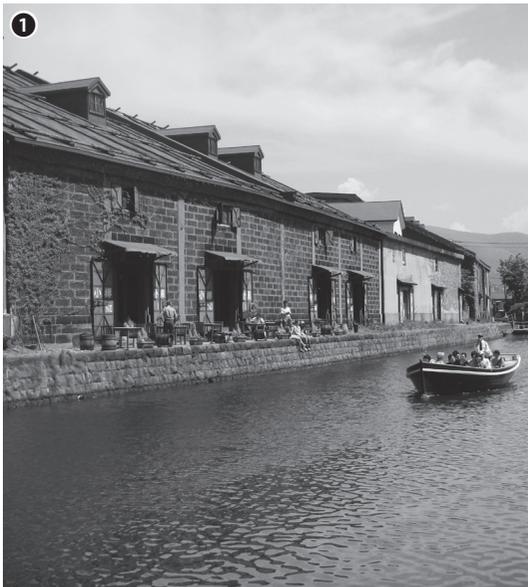
現在も、あちこちに石造りの洋館や古い日本建築など、歴史的な建造物が数多く残されており、資料館やレストラン、ショップとして利用されています。

市内には今でも数多くの生鮮市場があります。市民の台所としてにぎわっており、小樽や北海道近海で取れた新鮮な魚介類、それを加工した乾物や珍味はお土産としても大変人気があります。

魚のすり身を揚げた「揚げかま」は、市場やかまぼこ店で買うことができ、気軽にファーストフード感覚で楽しめる人気の商品となっています。

小樽と言えば日本有数の寿司の街として全国的にも有名で、市内には100軒を超える寿司店があり、四季折々に旬のネタを楽しむことができます。そして、今、新たな名物料理として、話題となっているのが、昔から市民に親しまれてきた、あんかけ焼きそばです。各店で趣向を凝らした具材たっぷりのあんがかかった焼きそばは、小樽のソウルフードとして人気の一品となっています。

また、小樽は硝子工房が数多くある国内有数の硝子の街です。硝子作家による色、デザインともあでやかな花瓶、グラス、ランプ、アクセサリなどが店内を彩っています。



1 小樽運河

小樽のシンボルです。大正12年に完成した港湾施設であり、その役割を終えた後、昭和61年に現在の姿に生まれ変わりました。

散策路にはガス灯が設置され、運河沿いの石造り倉庫群は当時の姿のまま残されており、レストランなどに再利用されています。夕暮れ時には、ガス灯がともるとともに石造り倉庫群がライトアップされ、ロマンチックな雰囲気を楽しめます。

古き良き時代の小樽を思い浮かべながらの散策や、カナルボートでの運河クルーズをお楽しみいただけます。また、写真撮影スポットとしても有名な浅草橋街園には、観光案内所もあります。

2 北のウォール街

金融・経済の拠点として栄えた小樽は、世界の金融市場、ニューヨークのウォール街になぞらえて「北のウォール街」と呼ばれていました。

明治から大正、昭和の時代に建てられたそれらの建物は、今では資料館、レスト

ラン、店舗として再利用されています。石造り、レンガ造りの重厚な歴史的建造物群をじっくりとご覧ください。また、金融資料館（日本銀行旧小樽支店）には、当時を再現した展示があり、ほぼ変わらない街並みを今に伝えています。

3 小樽堺町通り商店街

明治半ばから大正、昭和にかけ、にしん豊漁と共に小樽経済が全盛を極めていた頃、石造りの商家やモダンな洋館が立ち並ぶ商人街としても、大いににぎわいを見せていました。

その往時をしのばす街並みは、今でも残されています。約900メートルにわたり、硝子細工やオルゴールなどの工芸品や、様々なスイーツなど、小樽の特産品を扱うお店が立ち並んでいるさまは、見ていて飽きることがありません。製作体験で、あなただけのオリジナルアイテムを作ってみてはいかがでしょうか？ すてきなお土産になるはずです。

また、メルヘン交差点には常夜灯や蒸気時計があり、古き良き時代の情緒をたっぷりと味わうことができます。

4 祝津

かつてにしん漁で栄えた漁村で、現在も海岸沿いには贅を尽くしたにしん漁家の豪邸や番屋、石造りの倉庫など歴史的建造物が点在し、にしん漁最盛期の繁栄を今に伝えています。

ニセコ積丹海岸国定公園に指定されており、美しい海と勇壮な海岸美をパノラマ展望台から眺める楽しみも。豊かな自然に囲まれ、常時約250種以上の動物や魚を鑑賞できる「おたる水族館」もあり、家族連れにもお勧めです。

5 天狗山

市内を一望できる天狗山は、夜景も堪能できるビュースポットです。山麓から山頂までは30人乗りのロープウェイが約4分でつないでいます。晴れた日には遠く暑寒別連峰や積丹半島も一望できます。山頂には景色を眺めながら食事を楽しめる展望レストランがあるほか、全国から集められた天狗のお面が並ぶ「天狗の館」、願いがかなう「鼻なで天狗さん」など天狗に関連した施設もあります。

足を延ばして



6 朝里川温泉

日本最大級の温泉地数を誇る北海道。小樽市内にも数多くの温泉があります。その代表は朝里川温泉です。川に沿ってリゾートホテルやペンションなど、大小さまざまなホテルが立ち並ぶ自然豊かな温泉郷です。夏はゴルフやテニス、秋は紅葉、冬はスキーを満喫できます。



7 北しりべし

余市、仁木は北海道有数の「フルーツの町」で、さくらんぼやリンゴなど季節のくだもの狩りを楽しむことができます。また、積丹半島ではシャコタンブルーの海や切り立った断崖、奇岩などの絶景、ウニやタラコといった水産品を楽しむことができます。

港までの所要時間

| | |
|-------------|---|
| JR「小樽築港駅」より | ■ 徒歩約20分、タクシーで約5分 |
| 新千歳空港より | ■ タクシーで約70分（高速道路利用） ■ JR「小樽築港駅」まで快速エアポートを利用し、JR小樽築港駅からタクシーを利用した場合は約70分 |



小樽

おすすめグルメガイド

広大な北海道は新鮮な食材の宝庫で、小樽には寿司をはじめとして、たくさんのおいしい食べ物があります。近海でとれた魚介類を使った水産加工品、昔から市民に親しまれているあんかけ焼きそば、餅、かまぼこ、各店の個性が光るスイーツ、おいしい洋食など、食べきれないほどです。



寿司

小樽近海ではウニやアワビ、シャコなどの新鮮な魚介類が採れるため、市内には100軒を超える寿司屋があり、小樽は日本有数の「寿司の街」となっています。「寿司屋通り」という名前の通りもあり、新鮮な魚介類を用いた寿司を楽しめるほか、握り寿司体験のできるお店もあります。



スイーツ

小樽は昔から菓子作りの地として知られ、市内には多くの和菓子店があります。お店伝統の餅や串団子、ぱんじゅう、上生菓子など市民や観光客の舌を満足させています。また、近年はケーキやクッキーなどの洋菓子も全国的に人気で、お土産の定番となっています。



酒

小樽はおいしい水に恵まれており、昔から酒造りが盛んです。市内には日本酒の蔵元やワイン、ビールの醸造所があるほか、隣町の余市町にはウイスキーの蒸留所もあり、様々な種類の地酒を楽しめます。工場見学をすることもできます。